



品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成14年10月25日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号

試験名称	床合板を介した木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：ニュー皿ビスコーナー 75 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：幅50mm, 厚さ2.3mmの鋼板を加工したもの（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 柱側木ねじ：3 #角ビット皿スクリュー 4-φ5.5×45mm(ねじ部の長さ39mm) 谷の径:3.3mm, ねじ山のピッチ:3.1mm, ねじ先の形状;とがり先 土台側木ねじ：3 #角ビット皿スクリュー 5-φ5.5×75mm(ねじ部の長さ55mm) 谷の径:3.6mm, ねじ山のピッチ:3.1mm, ねじ先の形状;切り刃先 材質：SWRCH22A (JIS G 3507)相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%) P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 表面処理：ダクロタイズド処理 3. 使用軸組等 柱：樹種;すぎ, 寸法;105×105mm, 含水率;8.9~12.6%, 密度;0.46~0.52g/cm ³ 土台：樹種;すぎ, 寸法;105×105mm, 含水率;8.6~14.4%, 密度;0.44~0.52g/cm ³ 床合板：構造用合板 (JAS特類2級), 厚さ30mm 4. 試験体数 7体 (うち1体は予備試験体) 参照：図-1~図-3 (試験体の形状・寸法)
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター) の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2. 「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法, 評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準接合引張耐力(P _{ot}): 6.0kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6
試験期間	平成14年 8月28日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 川上 啓 修 試験実施者 室星 啓 和
試験場所	中央試験所